

ウォーターセラミック 施工点の補足

コケやカビの生えた躯体への塗布

- 1：乾いたウォーターセラミックを塗布し15分ほど放置し、ウォーターセラミックを浸透させます。浸透させることによりバクテリアなどの生物由来を含む汚れの洗浄（汚れを浮かす）が目的です。
- 2：躯体を傷つけない程度でコケ、カビを水で洗い流します（スポンジ、デッキブラシ、金たわし、高圧洗浄等）※コケを洗いながすとき茶色い水がでます
- 3：よく乾かします
- 4：ウォーターセラミックを躯体に吸水させるように噴霧器・ローラー・刷毛で塗布する。吸水しない部分はウエスでふき取り、5分程度あけた後に結晶化を防ぐために濡れたウエスで表層部のウォーターセラミックで拭き取る。
- 5：乾燥させる。

新規躯体への塗布

- 1：躯体が十分に乾燥している事を確認する。
- 2：ウォーターセラミックを躯体に吸水させるように噴霧器・ローラー・刷毛で塗布する。追っかけで2度目の塗布を行い、吸水しない部分はウエスで拭き取り、5分程度あけた後に結晶化を防ぐために濡れたウエスで表層部のウォーターセラミックで拭き取る。
- 3：乾燥させる

- ・基本的に吸水性のある、コンクリート・モルタル・レンガ・瓦・漆喰への施工が適している。
 - ・躯体に他の撥水剤・光触媒・塗料が塗布されている物へは吸水性が無い為、効果が発揮されません。
 - ・濃色の躯体、基材（御影石、磁器タイル等）にはウォーターセラミックの白い結晶が残り目立ちやすい為、塗布後はよくふき取り、濡れたウエスで表層のウォーターセラミックをよく拭き取る。
- 表面のツルツとした磁器タイルは吸水性が無い為結晶化が残りやすいので注意して拭き取る。
- ・施工後はセラミックの組織が破壊されるため高圧洗浄は行わない。
 - ・ウォーターセラミックが結晶化すると硬度が高くなるため素早く洗い流すか、濡れたウエスでよく拭き取りをおこなう。
 - ・木部には使用しないでください。